

# 令和6年度 学校経営計画

東京都立日本橋高等学校

校長 杉森 共和

## 1 目指す学校

### (1) スクールミッション

自主性と責任を重んじ、人権を尊重し、社会の福祉に貢献する生徒を育成します。

外部機関との連携等により、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を身に付け、社会の一員として共に生きる態度・能力を備えた生徒を育成します。

### (2) グラデュエーション・ポリシー

本校の教育目標を達成するために、以下のような資質・能力を育成する。

- ① 変化の激しい社会を生き抜くための知識とコミュニケーション能力や言語能力などの技能
- ② 自己と社会の関わりを理解した上に、主体的・協働的に行動できる思考力・判断力・表現力
- ③ 社会における自己の役割を探究し、学びに向かう力や自己の目標に向かって主体的に努力する人間性

### (3) カリキュラム・ポリシー

本校での教育活動全般を通して、自主性と責任を重んじ、人権を尊重して社会の福祉に貢献できる人間を育成するために、以下のような教育課程を編成する。

- ① 社会の福祉に貢献できる人間の育成をはかるために、基礎的学力の修得を重視するとともに、発展的な学習内容を修得できる演習等を開講する。
- ② 社会と自己のつながりを自覚させ、社会性と責任感を育成するために、「オープンマインドタイム」など地域社会と深く結びついた授業や行事を行う。
- ③ 協働活動を通じて多様な価値観を身に付け、思いやりをもち、主体的に行動できる人間を育成するために、授業におけるアクティブ・ラーニング、体育祭や文化祭などの学校行事、部活動などを充実させる。
- ④ 高校生活と卒業後の人生を見据え、より良い生き方を選択できるよう学力向上を図るとともに、各種ガイダンスを通じたキャリア教育や課題探究を実施する。
- ⑤ 学習に対する自主性と学力等の証として、検定取得を目指した指導をする。

### (4) アドミッション・ポリシー

本校の教育目標を達成するために、以下のような生徒を求める。

- ① 学力の向上を目指し、地道に努力を重ねることができる生徒
- ② 学校行事・ホームルーム活動・委員会・部活動などに積極的に参加し、豊かな人間関係を築くことができる生徒
- ③ 規範意識をもち、自らの判断で行動し、社会的信頼を得られる生徒
- ④ ボランティアや福祉に関心をもち、主体的に地域社会に役立つようとする意欲をもつ生徒

## 2 中期的目標とその達成に向けた方策

### (1) 学校経営

#### ① 学校経営

組織としてコンプライアンスの意識を高め、教職員がチームとなって業務を遂行する。主幹教諭、企画調整会議を中心に学校を運営し、魅力ある学校づくりを推進する。

#### ② 人材育成、授業力向上、研修、ライフ・ワーク・バランス

教職員全体の仕事力を高める。特に授業力の育成に努める。働き方改革を推進し、教職員が生徒のロールモデルとなる。

#### ③ 施設・設備の整備

校内の施設・設備を効果的・効率的かつ安全に稼働させるため、継続的に管理・修理・維持する。図書館は情報活用の中核とする。

#### ④ 経営企画事務マネジメント、自立経営予算

学校の窓口として、都民感覚と経営感覚を重視して経営企画事務を遂行する。

### (2) 募集・広報活動

#### ① 地域との連携

広く本校の使命を理解してもらい、地域の支持を受ける。学校運営連絡協議会から協力的で有益な助言を得る。同窓会・卒業生と効果的に連携する。

#### ② 募集・広報

WebページやSNSを活用した広報活動を行う。生徒や保護者・地域を巻き込み、募集広報活動を工夫して行い、毎年の応募倍率を1.3倍超とする。

### (3) 学習指導

#### ① 教務・教育課程の編成

時間割や考査・評価の工夫、選択科目の工夫や習熟度別授業を実施し、基礎学力を定着させる。教育課程の特色化を図り、カリキュラムマネジメントを行う。

#### ② 学習指導、学習評価

スクールポリシーや「総合的な子供の基礎体力向上方策」を踏まえ、学習指導計画に基づき学力・体力の向上を図る。

### (4) 進路指導

キャリア教育基本計画に基づき、組織的・体系的なキャリア教育を実践する。高校で力を入れた学びを成果物とし、多様な入試制度に対応する。それぞれの入試制度を活用し、国公立大学や中堅私立大学に合格者を出す。

### (5) 生活指導

「都立高校生活指導指針」に基づき、生徒の成長を促す教育活動の一環として生活指導を行う。ルールを遵守する姿勢を育成し、安心・安全な校内環境を整え、学校生活の満足度を高める。体罰ゼロ・暴力ゼロ・自殺ゼロ、いじめの早期対応を目標に、外部機関と連携を取りながら、すべての教育活動を使って計画的・横断的に予防・対応を図る。

### (6) 特別活動・部活動

主体性を持ち社会福祉に貢献できる生徒を育成するために、ホームルーム活動を活性化し、生徒会活動や行事が高い教育効果をもたらす活動となるよう工夫をする。部活動は部活動指導員を活用し、教員が負担を感じない工夫をする。

### (7) 健康づくり

外部機関と連携を図りながら計画的に保健指導、カウンセリング、特別支援教育を実施する。

### 3 当該年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

#### (1) 学校経営

##### ① 学校経営

目標：個々のコンプライアンスが学校改革レベルになる。それぞれの分掌・学年業務が他の分掌・学年に好影響を与える。学校全体が互いに協力し向上するチームになる。教育活動の特色化を計画する。

方策：新中期計画の策定と実施、評価。自己申告制度の活用。学期ごとの分掌の実績と課題のまとめの実施。主幹教諭、企画調整会議による提案。

##### ② 人材育成、授業力向上、研修、ライフ・ワーク・バランス

目標：○個々の授業力が高水準になる。個々の業務遂行力が高水準になる。本校スタッフ全員が生徒のロールモデルになる。「チームがワークする」組織になる。

方策：校内研修・OJTの実施。先進校視察の実施。国・都、民間の研修参加の促進。授業観察・相互授業参観の実施。「東京グローバル人材育成指針」に基づいたグローバル人材の育成。年休取得日数・勤務時間制限目標の設置。イクボス宣言の実施。アウトリーチ型相談事業の活用。業務改善（組織化・効率化・明確化）。学校業務支援員の活用。

##### ③ 施設・設備の整備

目標：学びやすい環境が作られている。安心・安全が確保されている。図書館の利用頻度が高い。

方策：学習環境の整備・保全。美化委員会の活性化と校内清掃の工夫。デジタル技術を活用した教育の推進。教育活動と一体化した図書館活用の工夫。

##### ④ 経営企画事務マネジメント、自立経営予算

目標：事務業務が滞りなくマネジメントされている。前年度の課題を克服する工夫がある。

方策：庶務、経理、施設、給与、学事業務の適正実施。自律経営予算編成作業の効率化、予算の効果的な編成。

#### (2) 募集・広報

##### ① 地域との連携

目標：地域の方の評価が高い。

方策：学校運営連絡協議会、学校評価委員会、防災教育推進委員会における意見交換。授業公開の実施。地域への情報配信。入学式卒業式の円滑実施。

##### ② 募集・広報

目標：○説明会来場者が増加し入選倍率を確保する。入学希望者が夢を持っている。選抜した受検者が本校に適合している。

方策：学校説明会の開催。外部説明会への参加。中学校・塾等の訪問。Web、SNS、オンラインを活用した広報を展開。生徒の学習成果の広報。

#### (3) 学習指導

##### ① 教務運営・教育課程の実施

目標：教育課程を適正にマネジメントする。学業成績・出欠席等における生徒の現状が共有できる。

方策：グランドデザインとシラバスによる指導目標の共有。教科主任会の開催。統合型校務支援システム・定期考査採点・分析システムの活用。定期考査の適正な実施。

##### ② 学習指導、学習評価

目標：○各教科の学力の向上を図る。体力テストで東京都平均を超える。

方策：年間学習計画とルーブリックの作成。全教員による「生徒が分かる授業」の実施。発問の

工夫、指導と評価の一体化。デジタル機器、学習アプリの活用。基礎学力向上と苦手科目克服の指導の工夫。授業以外の学習時間確保の工夫。

#### (4) 進路指導

目標：組織的・体系的なキャリア教育を実施する。○全ての生徒が希望進路を実現する。

方策：地域と連携した外部人材の活用。読書活動の活用。マイサクセスストーリーとキャリアパスポートの活用。進路調査の実施と活用。放課後・土曜日の補習・講習、長期休業中の講習の実施。模試及び模試結果分析会の実施。オーバートリプルサード取得率増加の工夫。進路行事の実施。進路相談・面談の実施。

#### (5) 生活指導

目標：学校生活が安心・安全と言える。○生徒の学校生活の満足度が高い。体罰ゼロ・暴力ゼロ・自殺ゼロ、いじめの早期対応。

方策：生活指導部を中心とした全教員による生活指導。挨拶と言葉遣いの指導、基本的な生活習慣の徹底。身だしなみの指導、遅刻指導、チャイム着席の実施。トラブルの未然防止。暴力・自殺の未然防止、いじめの未然防止・早期発見・早期対応。表彰機会の確保。

#### (6) 特別活動・部活動

目標：○生徒の帰属意識が高い。ホームルーム活動が活発になる。生徒会・委員会活動が活性化。生徒の自助・共助・公助の意識が高い。ボランティアで貢献する生徒が増える。外部交流や活躍をする部活動が増加する。部活動加入率が向上する。

方策：各行事の実施要項の作成。年間ホームルーム計画の作成、ホームルーム運営の工夫。保護者会の実施、担任と保護者との連携・面談。生徒実行委員会による行事の実施。交通安全指導・避難訓練・防災教育の実施。人間と社会、オープンマインドタイムの実施。道徳の年間ホームルーム指導計画への位置づけ。部活動年間指導計画の作成、部長会の実施。部活動改革パイロット校として地域との連携。

#### (7) 健康づくり

目標：生徒の健康に対する自己管理能力が高い。内容に応じた相談活動が充実する。ユニバーサル教育としての特別支援教育の推進。

方策：定期健康診断の活用。生徒保健委員会の活性化。見立てに基づき計画し最終解決するための教育相談委員会の実施。スクールカウンセラーの活用。医療・福祉・警察等隣接領域や外部との連携。

#### (8) 重点項目

○個々の授業力が高水準になる。

○説明会来場者が増加し入選倍率を確保する。

数値目標：学校説明会参加者 2,500 名、ホームページ更新 300 回、1 次応募倍率 1.3 倍

○各教科の学力の向上を図る。

数値目標：「分かりやすい授業」90%

○全ての生徒が希望進路を実現する。

数値目標：進路決定率 90%、OTT 達成者 50 名

○生徒の学校生活の満足度が高い。

数値目標：学校満足度 85%、ルール遵守 90%

○生徒の帰属意識が高い。

数値目標：部活動加入率 80%